

令和5年度

大阪府 AI オンデマンド交通モデル事業費補助金 採択事業の概要

事業名称	東大阪市 AI オンデマンド交通実証事業
応募者	梅田タクシー株式会社
事業計画概要	<p>運行事業者である梅田タクシー株式会社、東大阪市及びシステム会社である Community Mobility 株式会社の3者で連携し、傾斜がきつい山麗部において、あらゆる方の移動課題の解消に向けて、今年度は約8カ月間の実証実験を行う。</p> <p>運行事業者を主体とし、サブスクリプションや回数券導入によるサービスモデルの検討、外出目的創出による利用促進の検討及びシステム会社を座組に取り入れることによる AI を活用した事業の優位性の検証を重点的に行い、令和6年度の AI オンデマンド交通実装をめざす。</p>
委員からの採択コメント	<p>サブスクリプションや回数券など、新しい運賃収入の方法による収益モデルの確立を検証する点を評価。既に他地域でサービスを展開する会社も含めて協定を締結することによる効率的な事業展開に期待。従来のサービスモデルとの違いを打ち出してもらいたい。</p> <p>交通事業者には今後の地域公共交通を担っていくという強い意気込みのもと、主体性を持ちながら地域と連携し事業を進めてもらいたい。実証により得られたデータを十分に分析し、元データ並びに結果については横展開を見据えた公開を行ってもらいたい。</p>

事業名称	堺市泉北ニュータウン地域 移動支援サービスとしてのオンデマンドバス実証事業
応募者	南海電気鉄道株式会社
事業計画概要	<p>南海電気鉄道株式会社、南海バス株式会社及び堺市で連携し、既存の公共交通との共存を前提に、移動利便の向上による外出促進及びマイカー利用からの転換など、新たな移動需要の創出に繋がる新交通の構築を目標に、令和4年度に引き続き、今年度は約4カ月間の実証実験を行う。</p> <p>令和6年度以降の AI オンデマンド交通の実装を見据え、商業施設等の生活利便施設への停留所の増設及び地域密着のヘルスケアアプリの活用による運賃割引等を実施することで更なる利用促進を図り、サービスモデルの構築をめざす。また、目的地となる施設からの協力金収入など、マネタイズに向けた各種検討を行う。</p>
委員からの採択コメント	<p>昨年度の実証結果を踏まえた今年度の事業計画案を策定すると共に、新たな施策として、送客先施設等との連携や、健康アプリを活用することによる利用促進など、サービスモデルの確立に向けた多様な検証を行う点を評価。</p> <p>同じ移動課題を抱える他の府内ニュータウンの助けとなるモデルとなること、得られたデータを活用しながら周辺市町村への働きかけを行なうことに期待。昨年度から運行エリアを拡大させるだけでなく、幅広い年齢層に使ってもらえるような利用促進の取組みを徹底し、定住と移住の促進をめざすまちづくりと共に今後の事業展開を確実に進めてもらいたい。</p>

事業名称	豊能町 西地区への AI オンデマンド交通導入に向けた実証
応募者	阪急バス株式会社
事業計画概要	<p>阪急バス株式会社、京都タクシー株式会社及び豊能町で協議会を立ち上げ、高齢者の移動課題の解消や子育て世代の利用増進に向け、R4 年度に引き続き、今年度は有償の実証実験を行う。</p> <p>令和 6 年度の AI オンデマンド交通実装を見据え、有償化によるビジネスモデルの構築や、外出目的創出による利用促進の他、コールセンター運営・運転士の雇用確保を踏まえた事業の収益化に関する検証を重点的に行う。</p>
委員からの採択コメント	<p>交通事業者が AI オンデマンド交通ブランドを立上げ、今後の事業展開も含め、非常に前向きに取り組んでいる点を評価。</p> <p>収益化に向け、運転士の雇用や自前のコールセンターの設置など、経費を抑える取組みのほか、自治体が事業の持続性を確保することについての検証にも期待する。</p> <p>昨年度の課題を解消すべく、機会損失を抑える予約システム改修や乗合率を高める工夫、幅広い年齢層の移動ニーズにもしっかりと応えられるようサービスモデルの確立に向けた取組みを行ってほしい。</p>